

	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準	測定値・記録値・比較値	結果	特記事項
(一)	巻上機	油漏れ	目視により確認する	制動面に油の付着が無いこと。 グリース排出場所への流出が無いこと。		良・否	
(二)	かごエプロン	外観の状況	目視により確認する	過度の変形無きこと。		良・否	
		取付けの状況	目視又は触診により確認する	取付け部に緩みが無いこと。			
		長さの状況	測定により確認する	かご床面から直線部分の長さが基準値以上であること。 基準値 700mm	長さ _____ mm		
(三)	ブレーキ	パッド厚みの状況	目視により確認する	パッドに溝があること。	初期値 溝 1.5mm	良・否	
		制動力の状況	測定により確認する	無負荷上昇(微速)時のかごの制止距離を測定し、基準値以下であること。 基準値 _____ mm 前回(一年前又は初回検査であれば初期値)測定した制動距離との差 基準値 _____ mm	制動距離 _____ mm 前回値 _____ mm 変化量 _____ mm		
(四)	ブレーキパッドの動作感知装置	外観の状況	目視により確認する	欠損および亀裂等の異常が無いこと。		良・否	
		取付けの状況	目視又は触診により確認する	取付け部に緩みが無いこと。			
		動作の状況	目視により確認する	ブレーキの開閉と接点の開閉が所定の位置で行われていること。			
		スイッチの使用期間の状況	目視により確認する	最終交換日(設置年月日)より10年を過ぎて使用されていないか。	設置年月日又は部品交換記録 ____年 ____月 ____日 使用年数 ____年	良・否	
(五)	特定距離感知装置	外観の状況	目視により確認する	欠損および亀裂等の異常が無いこと。		良・否	
		取付けの状況	目視又は触診により確認する	取付け部に緩みが無いこと。			
		動作の状況	測定により確認する	規定位置で動作すること。 規定位置 FL±50mm	動作位置 上昇側 _____ mm 下降側 _____ mm		
		スイッチの使用期間の状況	目視により確認する	最終交換日(設置年月日)より10年を過ぎて使用されていないか。	設置年月日又は部品交換記録 ____年 ____月 ____日 使用年数 ____年	良・否	

	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準	測定値・記録値・比較値	結果	特記事項
(六)	安全制御プログラム	外観の状況	目視により確認する	安全制御プログラムが搭載されたプリント基板型式が認定を受けたものと同一であること。 型式 NW3P08-41C	基板型式 _____	良・否	
		基盤の使用期間の状況	目視により確認する	最終交換日(設置年月日)より10年を過ぎて使用されていないか。	製造年月日又は部品交換記録 ____年__月__日 使用年数 ____年		
		動作の状況	昇降機を運転し動作の状況を確認する	ドアゾーン外で乗り場インターロックをはずした時、戸開走行保護装置が作動し、電動機およびブレーキの励磁コイルが電源から遮断されること。			
(七)	電源遮断用コンタクタ	外観の状況	目視により確認する	欠損および亀裂等の異常が無いこと。		良・否	
		取付けの状況	目視又は触診により確認する	取付け部に緩みが無いこと。			
		接点の状況	目視により確認する	著しい摩耗、変形がないこと。			
		使用期間の状況	目視により確認する	最終交換日(設置年月日)より10年を過ぎて使用されていないか。	製造年月日又は部品交換記録 ____年__月__日 使用年数 ____年		
(八)	乗場戸及びかご戸スイッチ	使用期間の状況	目視により確認する	最終交換日(設置年月日)より100万回を過ぎて使用されていないか。(乗場戸はかご戸動作回数到達時に接点のみ交換)	かご戸スイッチ動作回数 _____回	良・否	